

# 予算質疑

## あわ神あわ姫バス検証と効果

**問** 昨年10月に運行を開始した南部生活観光バスの、運行見直しの予定は。

**答** 乗り継ぎが不便という利用者の声を多くいただいています。区間や時間帯などを現在分析中で、国県と協議しながら、今年10月1日からの見直しを考えています。

**問** 環境整備として、どのバス待合所を整備するのか。

**答** 津名高校・淡路高校前に雨風よけの上屋をそれぞれ上下線に設置します。

**問** 1か所当たり450万円を予定し、随時、利用の多いバス整備も考えています。

**答** 津名高校・淡路高校前に雨風よけの上屋をそれぞれ上下線に設置します。

## 産科休止の対策

**問** 休止中の聖隷淡路病院産科の復活の見込みは。

**答** 病院本部にも向いますが、全国的な産科医不足の状況で進んでいません。産科復活をあきらめては無く、人脈を頼りながらでも、産科医確保に向け継続して取り組みます。

**問** 島外への妊婦健診受診者へは定額で1回1820円の交通費助成が出るが、洲本医療センターへの健診の交通費も助成対象とすべきでないか。

**答** 市内で出産できるような病院を誘致しましたが、事情で休止となっています。本来、対応すべきと思いますが、明石海峡大橋が生活道路であるという観点から、通行料金の考えでの予算としています。

## なぜ新たに福祉会館を

**問** 建設予定地を選定した理由は。

**答** 志筑にあるシルバール人材センター付近を予定しています。津名地域は大規模集積地域であり、市内5か所に保健関係施設があることから、社協を含めボランティア団体等も利用できるといふ総合的な利便性を考えています。

**問** 建設予定地を選定した理由は。

**答** 志筑にあるシルバール人材センター付近を予定しています。津名地域は大規模集積地域であり、市内5か所に保健関係施設があることから、社協を含めボランティア団体等も利用できるといふ総合的な利便性を考えています。



**問** 社協本部が入ると思っていた津名ふれあいセンターを3階建てにすれば、一緒にできたのではないかと。厳しい財政面からしても、なぜ3階建てにする話にならなかったのか。

**答** 社協と協議を重ねましたが、要望の規模を確保できず断念しました。

また、地盤が軟弱であり、3階建ては建設費的にも難しく、津名ふれあいセンターは休日診療所も兼ねており、災害時には周辺住民の避難場所にもなっています。災害時の診療所にもなり、福祉会館は別の場所が適切と考えています。

## どこの国に注力するのか

**問** 世界的観光立島事業は様々あるが、今後、インバウンド対策では、どこの国に注力しているかと考えているのか。

**答** 個人リピーターが多い香港、台湾をメインに誘客を図っています。その後、欧米を対象に考えています。

## 小中一貫教育の進め方は

**問** 新年度から小中一貫教育が開始されるが、合併特例債が使える期間を理由に、施設一体型一貫校を地域や学校の事情を考慮せず無理強いくべきではないと考えるが。

**答** 一貫校といっても、施設分離型や一体型と様々な形態があります。一貫校を合併特例債の期限を理由に進めることはあり得ません。

## クラブチーム発足を目標として

**問** ラグビーワールドカップ委託業務の内容と効果は。

**答** 全国的に大成功を収めたラグビーW杯ですが、本市ではラグビーは縁が少なく、根付かせするため、令和元年から小学校でタグラグビー出張授業を5校で13回行っています。スポーツ振興のため、クラブチーム発足につなげる取り組みのきっかけ作りを目指します。



## 有害鳥獣対策に期待

**問** ジビエ処理施設の計画とあるが、事業内容や運営主体および経緯は。

**答** 興隆寺地域からの要望により、市が建設し、今後運営に関しては、地域の人たちと話し合っており決まっています。規模は107㎡の木造平屋建てで、建設費は約8730万円の予定です。

**問** 捕獲鳥獣を地域資源「ジビエ」としてどのように活用するのか。

**答** 佐野（興隆寺）地区で年間捕獲される約200頭を有効活用し、県内事例を参考に、ジビエ加工（イノシシ肉の食材提供およびペットフード販売）に取り組み、地域の活性化を図っていきます。

## もっとドローン活用を

**問** 今後、災害時に状況の確認等、ドローンが役に立つと考えるが、現状と今後の方向性は。

**答** 現在の保有数は1機です。現在増やす予定はありません。二人一組で操縦し、現在6人の職員が操縦できます。今後、講習等で操縦できる人材を育成していきます。



## 市制15周年事業

**問** 式典とイベントの日程が別であるが、同日に開催してはどうか。

**答** 記念事業は、市民の市政への関心を高め、夢と希望にあふれ、更なる飛躍の機会とするために実施します。「何でも鑑定団」番組を誘致しようとしています。準備等の関係もあり、式典を別の日に行います。

## グローバルな視野を

**問** 近々の国際交流の訪問実績は。

**答** アメリカセントメリス市には、平成30年に青少年10人、教員1人、市職員1人を、ブラジルパラナグア市には、平成30年に市職員3人、議員1人を、中国義島市には、令和元年に市民2人、市職員3人、議員1人をそれぞれ派遣しています。

## どうなっていく？マイナンバーカード

**問** 現在の普及状況と目標値は。

**答** 現在15・8%で、新たに会計年度任用職員を3人配置し、18%以上を目標とします。今後、健康保険証として活用されるようになれば、さらに普及増の見込みです。

